

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	てあてるの芽豊橋公園前		
○保護者評価実施期間	7年 2月 1日		7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	7年 2月 1日		7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い室内の中で、それぞれに合った過ごし方ができる。	玩具は扉のある場所に入れ整頓することで、活動の際に玩具に目がいかないようにしている。自由遊びの時間には、何がどこにあるかを写真で掲示してあるため、子供たちが使いたいおもちゃを職員に伝え、遊ぶことができる。	写真や、絵カードを使って何がどこにあるかを視覚で分かりやすく掲示することで、過ごしやすい環境を作っていく。
2	機能訓練士、保育士、児童指導員等、有資格者が多く、様々な活動を提供することができる。	毎日のミーティング時にその日の役割、支援の方法を細かく確認している。	外部研修に積極的に参加し、内部でも研修を重ねることで、専門性を高めていく。
3	戸外での活動に力を入れ、交通ルール、公共の場での過ごし方を身につけることができる。	天気の良い日には散歩や、公園で遊ぶことで季節を感じ、公共の場での過ごし方、ルールを知ることができるような活動を多く設定している。	安全に十分配慮し、今後も戸外での活動を取り入れ、地域の方々との交流も図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会がなく、保護者同士、きょうだいが参加できるような機会があまりないため、情報交換が行えていない。	保育園と併用して利用されているお子さんが多く、送迎時に保護者同士が会う機会がない。	土曜日や、祝日を利用して、きょうだい、保護者参加の活動を企画していく。
2	一日の利用人数が少なく欠席があると小集団での活動ができないう日があり、子供同士のやりとり、活動が少なくなってしまう日がある。	放課後等デイサービスと多機能での事業所であるため、児童発達支援のお子さんの人数が少ない日がある。	個別の活動を充実させると共に、小集団での活動も確保できるよう、他事業所や、地域のお子さんとの交流の場を確保していく。
3	地域交流の機会が少なく、保育園、幼稚園との交流の機会を設けることができていない。	大半が保育園に行っているお子さんであるため、児童発達支援では、個別や小集団での活動を重視している。地域の保育園、幼稚園にてあてるの芽豊橋公園前の周知ができていない。	地域のイベントに積極的に参加するとともに、開かれた事業所を目指し、イベントに地域の方々をお招きする活動も検討していく。